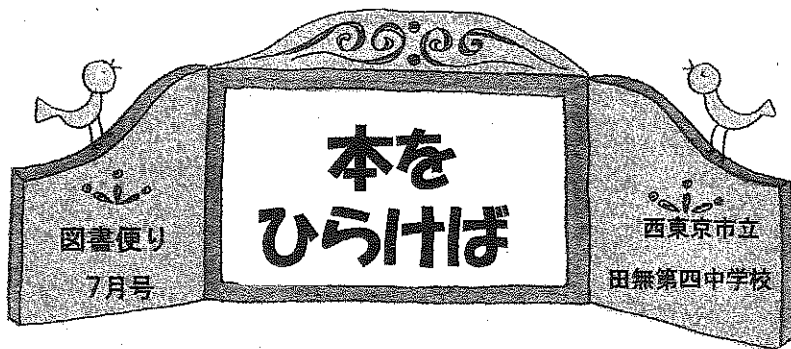




蒸し暑い日が増えて日差しも強くなってきました。いよいよ夏本番ですね。夏休みも近づいています。図書館では新しい本、この時期に読みたい本をそろえています。暑さに負けず本の世界で「涼」を見つけてみませんか？みなさんの利用をお待ちしています！

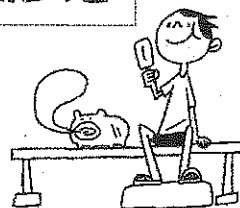
★返し忘れていた本が家や教室にありませんか・・・？

返却期限が過ぎた本は、すみやかに返却しましょう。

夏休み貸出と図書館開館についてのお知らせ

【夏休み貸出】

期 間 7月7日(月)より
貸出冊数 ひとり5冊まで
返 却 日 9月8日(月)



■ の日が開館日です

7月						
月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

8月						
月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

7月生まれです！



HERMANN HESSE

ヘルマン・ヘッセ

1877-1962

ヘルマン・ヘッセはドイツ生まれの詩人・小説家で、ノーベル文学賞も受賞した20世紀を代表する文学者です。有名な作品は『車輪の下』『シダールタ』『デミアン』『荒野のおおかみ』『ガラス玉演戯』などがあります。内省的で精神的な探求に深い関心を持つヘッセは人間の苦悩や青春の葛藤・孤独を深く描き東洋思想(仏教など)に影響を受け自我の超越や成長をテーマにした作品を多く残しています。四中図書館にも所蔵しています。ぜひ手に取って読んでみてください。 ↓
『車輪の下』(943へ)

今年の課題図書読んでみる・・・？

「わたしは食べるのが下手」

天川栄人 913テ

『食べる』ということについてさまざまな側面から考えさせられる本です。会食恐怖症・摂食障害・宗教上の理由や生活苦などから食事制限がある場合などなど。食べることにに関して困難を抱える4人が登場し、給食を通してあらたに『食』と向き合っていきます。食べる楽しみを書いた本はたくさんありますが、苦しみを理解するための本はあまりないと思います。これまでとは違う『食』に対する理解が深まる本です。

「スラムに水は流れない」

ヴァルシャ・バジャージ 933バ

経済の発展が著しいインドのムンバイを舞台にしたストーリー。スラムでは深刻な水不足の中、富裕層の住宅では蛇口をひねれば清潔な水が流れています。スラムで暮らす12歳のミンニは病気の母を支え働きながら勉強する中で、偶然にも水マフィアと呼ばれる闇の組織を知ります。そして、理不尽な境遇の中でも周囲の人々との交流を通してひとつひとつ乗り越え、機転をきかせた彼女の行動が未来への希望につながっていきます。あらためて社会や政治は誰のために動いているのか考えてしまう深い話です。日本にも似たような現実はあるわけで・・・深堀りして読むと今後の課題もみえてくる1冊です。

「鳥居きみ子」竹内純子 289ト

明治から昭和に生きた人類学者「鳥居きみ子」の伝記です。女性が働くことが珍しかった時代に、夫とともにモンゴルに赴き、現地民族にとけこみながら彼らの風習や習慣、伝承を家族と共に調査した貴重な記録です。生涯をかけて学問を貫く姿勢を学ぶことができます。